

1

まちの活力とにぎわいの向上

目指すまちのイメージ

活力が魅力を高めるまち

〈基本施策〉

- (1) 都市空間の魅力化と交通拠点性の向上
- (2) 企業活動の促進と雇用の確保
- (3) 商工業・観光の活性化
- (4) 農業の活性化
- (5) 歴史文化を生かしたまちづくりの推進

1. まちの活力とにぎわいの向上

(1) 都市空間の魅力化と
交通拠点性の向上

1. まちの活力とにぎわいの向上

- (1) 都市空間の魅力化と交通拠点性の向上
- (2) 企業活動の促進と雇用の確保
- (3) 商工業・観光の活性化
- (4) 農業の活性化
- (5) 歴史文化を生かしたまちづくりの推進

目指す姿

市内外の人が、魅力的でにぎわいのある都市空間のもと、活発に交流や活動を行っています。

◇成果指標

1. 人口の社会増減率（過去5年間の平均）

現状値	目標値
0.29%	現状値以上

2. 一日当たりの亀山インターチェンジ（亀山PA
スマートインターチェンジを含む）利用交通量

現状値	目標値
27,974 台	現状値以上

現状と課題

- 本市は、東名阪自動車道、新名神高速道路及び近畿自動車道伊勢線の3つの高速道路を中心に広域交通網の結節点として発展しています。さらに、高速道路に接続し、新たな道路ネットワークを形成する鈴鹿亀山道路が事業化され、整備が進められているほか、リニア中央新幹線三重県駅の設置等により、交通の要衝としての重要性が一層高まることが期待されています。こうした状況を踏まえ、今後も広域交通網の結節点としての本市の強みを生かし、魅力的で計画的な都市づくりをさらに推進していく必要があります。
- 新名神高速道路の三重県内区間が全線開通したことにより、東名阪自動車道の渋滞が改善され、物流を含めた人やモノの交流が活発化しています。しかし、さらなる交通の要衝としての発展には新名神高速道路の機能強化に加え、鈴鹿亀山道路・国道1号関バイパス等の整備促進を通じて、物流の効率化による生産性の向上、災害時の代替道路としての機能強化、円滑な交通確保を図る必要があります。
- リニア中央新幹線は、建設主体であるJR東海において、先行区間（品川・名古屋間）の建設工事が鋭意進められているとともに、名古屋・大阪間においても環境影響評価に着手されています。リニア中央新幹線建設促進三重県期成同盟会において県内駅候補地として決定され、リニア誘致活動が新たな段階に入った本市においては、早期全線開業に向け、三重県など関係団体と連携した機運醸成を図るとともに、駅周辺のまちづくりについて検討を進める必要があります。
- 本市においては、活力ある市街地の形成に向け、中心的都市拠点であるJR亀山駅周辺における図書館の整備、市街地における住宅の取得支援や地籍調査の推進等の取り組みを進めてきました。一方で、市北東部を中心に、居住や都市機能の誘導が必要とされる区域外での宅地開発や商業施設の立地等が進行しており、市街地の活性化やまとまりのある居住地の確保には十分につながっていない状況です。このため、都市の拠点機能の強化やまとまりある居住地形成を促進するための一層の取り組みが求められます。また、JR亀山駅周辺については、当該地区を建設予定地としている新庁舎の整備と連携し、さらなる都市機能の向上による拠点性の強化とにぎわいの創出が求められます。
- 一筆ごとの土地の境界や面積を明らかにする地籍調査は、効率的なまちづくりやインフラ整備等を進める上で重要な役割を果たします。しかし、本市における進捗率は低く、災害からの早期復旧・復興や円滑な土地利用が困難になる恐れがあることから、地籍調査のさらなる推進を図る必要があります。
- 道路、施設建築物、公共交通等を一体的に捉え、生活空間における多様なバリア（障がい）を取り除くことにより、円滑な移動の連続性を確保する必要があります。

活力が魅力を高めるまち



- 本市は、雄大な自然景観や歴史・文化を感じることのできる歴史的まちなみ、坂本棚田等の個性豊かな農村集落といった、魅力ある景観を有しています。一方、歴史的まちなみを形成する歴史的建造物については、建て替え等が進む地区もあることから、現存する歴史的建造物の保全・継承に向けた取り組み等を進め、本市の特徴ある景観を保全・創出していく必要があります。
- 公園や緑地については、市民の憩いの場や地域活動の拠点として利用されていることから、地域のニーズを反映した公園施設の整備や緑地の利活用等を通じて、さらなる利便性の向上と安全性の確保が求められています。

施策の方向

1 交通の利便性を生かした都市の形成	◆広域交通網の結節点としての特徴を生かし、計画的な土地利用を促進することで、都市の持続可能な発展を図ります。 ◆本市の都市形成に影響を与える様々な動向に適切に対応し都市の成長につなげるため、用途地域や都市施設について、都市計画の見直しを行います。 ◆鈴鹿亀山道路の早期完成に向け、三重県との連携を強化するとともに、新名神高速道路の6車線化や国道1号関バイパス等の整備促進に向けて国への働きかけを行い、広域交通機能の強化を図ります。 ◆リニア中央新幹線の早期全線開業に向け、関係団体と連携し、名古屋・大阪間のルート及び駅位置の早期決定に向けた取り組みや、将来世代も巻き込んださらなる機運醸成を図る取り組みを推進します。 ◆リニア中央新幹線三重県駅の設置・開業を見据え、関係団体と連携して駅周辺のまちづくりの方向性について検討を進めるとともに、まちづくりに必要な財源の確保を図ります。 ◇一日当たりの亀山IC（亀山PAスマートICを含む）利用交通量（再掲） <table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>27,974 台</td><td>▶ 現状値以上</td></tr> </tbody> </table> ◇リニア中央新幹線・JR複線電化推進 亀山市民会議の会員数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>75 会員</td><td>▶ 95 会員</td></tr> </tbody> </table>	現状値	目標値	27,974 台	▶ 現状値以上	現状値	目標値	75 会員	▶ 95 会員
現状値	目標値								
27,974 台	▶ 現状値以上								
現状値	目標値								
75 会員	▶ 95 会員								

3 安らぎのある都市 空間の創出	◆豊かな自然、歴史・文化が息づく本市の特色ある地域の魅力や個性ある景観を生かすとともに、歴史的建造物等の保全を図ることにより、美しく魅力ある景観まちづくりを推進します。 ◆地域のニーズに応じた公園施設の整備や緑地の活用により、安心して快適に利用できる環境づくりを推進するとともに、地域等の参画による公園・緑地の維持管理を促進し、運動や憩いの場として市民の心身の健康づくりを支援します。			
	関連指標	◇景観重要建造物の指定数（累計）		◇公園施設更新数
		現状値	目標値	現状値 目標値
		6 件	▶ 16 件	— ▶ 5 か所

■都市計画区域内の土地利用状況

			宅地				非宅地			合計
			住居系	商業系	工業系	小計	農地	山林・原野・その他	小計	
都市計画区域	面積(ha)	平成30年度	624.03	83.50	433.08	1,140.61	1,455.91	3,850.48	5,306.39	6,447.00
		令和6年度	633.76	85.04	469.74	1,188.54	1,272.71	3,985.75	5,258.46	6,447.00
		増減率(%)	1.56	1.84	8.46	4.20	△ 12.58	3.51	△ 0.90	0.00
用途指定地域	面積(ha)	平成30年度	277.01	41.90	283.06	601.97	89.91	457.52	547.43	1,149.40
		令和6年度	279.06	41.53	295.99	616.58	66.60	466.22	532.82	1,149.40
		増減率(%)	0.74	△ 0.88	4.57	2.43	△ 25.93	1.90	△ 2.67	0.00
用途指定地域外	面積(ha)	平成30年度	347.02	41.60	150.02	538.64	1,366.00	3,392.96	4,758.96	5,297.60
		令和6年度	354.70	43.51	173.75	571.96	1,206.11	3,519.53	4,725.64	5,297.60
		増減率(%)	2.21	4.59	15.82	6.19	△ 11.70	3.73	△ 0.70	0.00

(資料：都市整備課)



1. まちの活力とにぎわいの向上

(2) 企業活動の促進と雇用の確保

1. まちの活力とにぎわいの向上

- (1) 都市空間の魅力化と交通拠点性の向上
- (2) 企業活動の促進と雇用の確保
- (3) 商工業・観光の活性化
- (4) 農業の活性化
- (5) 歴史文化を生かしたまちづくりの推進

目指す姿

多様な企業が集積し、産業都市としてさらなる成長を遂げ、安定した雇用を創出しています。

◇成果指標

1. 新規企業立地等件数（累計）

現状値	目標値
3 事業者	6 事業者

2. 産業振興奨励金交付事業者の新規市民雇用者数（累計）

現状値	目標値
—	40 人

現状と課題

- 本市では、地理的優位性や高速道路が結節する交通アクセスの良さを生かし、民間産業団地「亀山・関テクノヒルズ」を中心に、これまでの製造業に加え、食品や産業ガスなど多様な産業を集積したことで、本市の産業構造に厚みが増し、地域経済の活性化と雇用の場の確保につながっています。しかしながら、亀山・関テクノヒルズの分譲区画が完売したことによる新たな産業団地の確保に向けた取り組みが喫緊の課題となっています。今後は、新たな産業団地の確保を進めつつ、成長が見込まれる半導体等の先端産業等の誘致に取り組むとともに、市内既存企業の事業展開や事業拡大を促進することが必要です。
- 亀山市雇用対策協議会を通じて、求人懇談会や進路ガイダンスの開催により、市内企業における雇用の創出を図っています。しかしながら、生産年齢人口の減少に加え、新規就職希望者の都市部への流出や入社後のミスマッチによる早期離職等により、人材不足が深刻化しています。今後、市内企業への就業を促進させるためには、工場見学等を通じて学齢期から市内企業を知る機会を確保することが重要です。また、官民連携による市内企業の魅力発信を充実させるとともに、若者や女性、高齢者の就労支援プログラムを強化し、多様な働き方の促進が求められます。
- 職場のより良い環境づくりを促進するため、働く人の相談窓口を通じた労働相談対応や、関係機関と連携した就職氷河期世代及び高齢者の雇用に向けた就職相談窓口の設置等により、労働者の多様な悩みに対応しています。また、市内の労働団体や経済団体等が労働環境の課題や対策等について懇談することで、ワーク・ライフ・バランスに対する機運の醸成を図っています。今後も、職場のウェルビーイングの向上のための取り組みや、働き方改革を一層促進していく必要があります。

- 「鈴鹿川等源流の森林（もり）づくり協議会」の活動や亀山商工会議所環境委員会への参画等を通じて、企業との協働によるまちづくりを進めています。今後は、CSR活動や脱炭素社会の実現に向けたGXの取り組みに加え、健康経営の促進など、これからの時代に応じた企業との連携を強化していく必要があります。

■市内製造業の推移

	令和3年	令和4年	令和5年
事業所数(箇所)	120	125	123
従業者数(人)	12,331	12,046	11,560
1事業所当たり従業者数(人)	103	96	94
製造品出荷額等(万円)	104,688,377	104,198,263	97,250,212
1事業所当たり出荷額(万円)	872,403	833,586	790,652

(資料：経済構造実態調査)



施策の方向

1 企業誘致と産業基盤の強化	◆産業振興奨励制度等を活用しながら、将来の成長が期待される産業分野の企業誘致等に取り組むとともに、本社機能の地方移転を促すことで、多様な産業の集積を促進します。 ◆企業の立地ニーズに迅速に対応できる新たな産業団地の確保を図ります。 ◆企業や土地活用に係る関係者との情報提供ネットワークの構築を図ります。 ◇新規立地企業への産業振興奨励金交付件数（累計） ◇新たに造成された産業団地区画数（累計） 関連指標 <table><tr><th>現状値</th><th>目標値</th><th>現状値</th><th>目標値</th></tr><tr><td>—</td><td>▶ 3 件</td><td>—</td><td>▶ 2 区画</td></tr></table>	現状値	目標値	現状値	目標値	—	▶ 3 件	—	▶ 2 区画
現状値	目標値	現状値	目標値						
—	▶ 3 件	—	▶ 2 区画						
2 既存企業の事業活動の強化	◆産業振興奨励制度等の充実により、市内既存企業の事業展開や事業拡大等を促進します。 ◆自社の強みやノウハウを生かした企業の多角的な事業活動の展開を支援するとともに、市内企業の魅力発信を行います。 ◇雇用対策協議会会員企業の魅力発信回数（累計） 関連指標 <table><tr><th>現状値</th><th>目標値</th></tr><tr><td>—</td><td>▶ 8 回</td></tr></table>	現状値	目標値	—	▶ 8 回				
現状値	目標値								
—	▶ 8 回								
3 雇用の促進と労働環境の整備	◆亀山市雇用対策協議会、ハローワーク、亀山商工会議所等の関係機関等と連携し、雇用の維持と確保を図ります。 ◆若年者が市内企業に就職し、働き続けたいと思えるよう、市内企業や学校等と連携し、企業を支える人材の確保を図ります。 ◆企業や労働者、行政が連携し、勤労者福祉の増進や職場のウェルビーイングの向上、ワーク・ライフ・バランスに対する機運の醸成を図ります ◇雇用対策協議会会員企業の高卒者採用数（累計） ◇雇用対策協議会会員企業への社会見学回数（累計） 関連指標 <table><tr><th>現状値</th><th>目標値</th><th>現状値</th><th>目標値</th></tr><tr><td>—</td><td>▶ 280 人</td><td>—</td><td>▶ 50 件</td></tr></table>	現状値	目標値	現状値	目標値	—	▶ 280 人	—	▶ 50 件
現状値	目標値	現状値	目標値						
—	▶ 280 人	—	▶ 50 件						
4 企業との連携によるまちづくりの推進	◆企業における環境保全意識を高め、環境負荷軽減に向けた活動の拡大とGXの取り組みを支援するとともに、地域・企業・行政が一体となった取り組みを推進します。 ◇SDGsに取り組む企業数（累計） 関連指標 <table><tr><th>現状値</th><th>目標値</th></tr><tr><td>36 社</td><td>▶ 44 社</td></tr></table>	現状値	目標値	36 社	▶ 44 社				
現状値	目標値								
36 社	▶ 44 社								

1. まちの活力とにぎわいの向上

(3) 商工業・観光の活性化

1. まちの活力とにぎわいの向上

- (1) 都市空間の魅力化と交通拠点性の向上
- (2) 企業活動の促進と雇用の確保
- (3) 商工業・観光の活性化
- (4) 農業の活性化
- (5) 歴史文化を生かしたまちづくりの推進

目指す姿

来訪者や市内事業者が、地域の魅力に共感し、活発な経営や交流を行っています。

◇成果指標

1. 創業件数（創業セミナー受講者のうち創業につながった件数）（累計）

現状値	目標値
—	12 件

2. 観光入込客数

現状値	目標値
289,993 人	315,000 人

現状と課題

- 本市では、ＪＲ亀山駅周辺の中心的市街地や市北東部の国道３０６号沿道等を中心に、商業地域の形成が図られています。こうした中、商工業団体が主体となって行う活動を支援することで、商工業団体の組織力や団体間のさらなる連携強化を図っています。今後は亀山商工会議所、商工業団体、事業者、行政が一層連携し、さらなる商業地域のにぎわい創出につなげる取り組みが必要です。
- 創業支援ネットワーク「カメヤマ創業アシスト」を形成し、創業セミナーの開催や都市拠点等における空き店舗等を活用した創業支援など、亀山商工会議所等と連携して創業者支援に取り組んでいます。また、事業者の経営力の向上を目指し、亀山商工会議所等の関係機関と連携しながら、経営に関する各種相談や融資制度等による事業者支援を展開しています。しかしながら、経営者の高齢化や後継者不足、消費行動の変化、物価の高騰など、事業者を取り巻く社会環境は厳しさを増しています。今後、まちのにぎわいの向上を図るためにも、継続した創業支援とあわせて、時代の変化に対応した経営基盤の安定・強化に向けた取り組みが求められます。
- 本市独自の地域ブランド認定制度「亀山ブランド」を通じて、産業振興及び地域の活性化を図っています。一方で、認定品の認知度向上や販路拡大等の課題があり、ブランドのさらなる魅力向上や事業者の新たなチャレンジを支援するなど、持続的な発展に向けた基盤づくりが求められています。
- 本市は、亀山７座や石水溪等の豊かな自然、東海道関宿等の歴史、人気のご当地グルメ、集客力の高いイベントなど、魅力ある観光資源に恵まれています。一方、観光施設への誘客の少なさや滞在時間の短さ等の課題に加え、観光へのニーズの多様化が進んでいます。今後は、本市の多様な観光資源を生かした、体験型・滞在型観光「亀山版グリーンツーリズム」の展開が求められています。中でも、本市の重要な観光資源である関宿については、保存と活用を進めながら、継承と誘客を両立させていく必要があります。また、三重県や近隣自治体との広域連携による周遊プランの構築と魅力発信等を進める必要があります。
- 観光ＰＲとして、観光資源の個別発信にとどまらず、「アートが生まれる街、亀山」をコンセプトに、ストーリー性のあるプロモーションを展開してきました。しかし、近年、旅行先の決定等の情報収集手段として、若者を中心にＳＮＳの活用が主流となってきています。今後は、観光客の視点に立った多角的で効果的な情報発信を行い、観光誘客の促進を図っていくことが求められます。

活力が魅力を高めるまち



- 観光施設については、石水溪キャンプ場バンガロー施設前トイレや足湯交流施設、関宿第2観光駐車場など、来訪者が快適に過ごせるよう、施設整備等に取り組んでいます。また、まちづくり観光の推進に当たり、亀山市観光協会やDMOカメラマモデル、地域団体等と連携したイベントや地域資源の活用を進めてきました。一方で、施設の老朽化や観光を担う人材の高齢化、担い手不足といった課題があり、今後は受入れ環境のさらなる充実や観光を担う団体等の円滑な運営に向けた支援が求められています。

施策の方向

1 にぎわいのある商業地域の形成	◆商工業団体等が主体となった商工業の発展に向けた取り組みを支援し、小規模事業者等の魅力向上や地域商業の活性化を図ります。 ◆J R 亀山駅周辺と連動した商業施設の集積や官民連携による商業地域の活性化を促進します。
関連指標	◇ J R 亀山駅周辺での官民連携活動回数（累計） 現状値 目標値 — ▶ 8 回 ◇ 空き店舗の活用件数（累計） 現状値 目標値 — ▶ 8 件
2 事業者等の支援と経営力強化の促進	◆亀山商工会議所など関係機関と連携し、創業者の発掘から育成、定着まで一貫した支援を行い、経営課題解決や販売力向上を図ります。 ◆社会経済環境の変化に応じて、小規模事業者等の経営力強化や資金繰り支援を推進するとともに、事業承継に向けた支援の強化を図ります。
関連指標	◇ 創業支援相談件数（累計） 現状値 目標値 — ▶ 60 件 ◇ 創業資金融資制度利用件数（累計） 現状値 目標値 — ▶ 20 件
3 亀山ブランドの強化	◆地域ブランドの確立に向け、亀山ブランドを事業者と協働して市内外に P R するとともに、事業者同士の交流等を通じたブランド認定品の魅力の磨き上げを図ります。 ◆ふるさと納税制度との連携や海外展開等により、亀山ブランド認定品の販路拡大を図るとともに、ブランドの持続的な発展と本市の知名度向上を促進します。
関連指標	◇ 亀山ブランド認定事業者間における連携実績（累計） 現状値 目標値 — ▶ 6 件 ◇ 亀山ブランドを返礼品として選択したふるさと納税寄附金額 現状値 目標値 4,217 千円 ▶ 18,600 千円

4 まちづくり観光の促進	◆自然や歴史・文化、産業等の観光資源を活用した体験型・滞在型観光「亀山版グリーンツーリズム」を展開するとともに、三重県や近隣市町との広域連携により、回遊性の向上や滞在時間の拡大を図ります。 ◆まちのにぎわいづくりに資する団体の活動を支援するとともに、亀山市観光協会、DMOカメラモデル、NPO等と連携し、各種イベントや関宿のにぎわいづくり等を推進します。								
関連指標	◇亀山版グリーンツーリズムが商品化された件数（累計） <table><tr><th>現状値</th><th>目標値</th></tr><tr><td>—</td><td>▶ 10 件</td></tr></table> ◇関宿周辺の観光入込客数 <table><tr><th>現状値</th><th>目標値</th></tr><tr><td>193,993 人</td><td>▶ 209,000 人</td></tr></table>	現状値	目標値	—	▶ 10 件	現状値	目標値	193,993 人	▶ 209,000 人
現状値	目標値								
—	▶ 10 件								
現状値	目標値								
193,993 人	▶ 209,000 人								
5 観光誘客の推進	◆SNSを積極的に活用し、ターゲットに合わせた観光プロモーションを展開するとともに、来訪者の利便性向上・周遊促進に向け、観光DXを推進します。 ◆亀山市観光協会と連携したフィルムコミッションによるロケ地誘致等に取り組むことで、本市の知名度向上と地域の活性化を促進します。								
関連指標	◇市観光公式SNSフォロワー数 <table><tr><th>現状値</th><th>目標値</th></tr><tr><td>629 人</td><td>▶ 3,800 人</td></tr></table> ◇フィルムロケ地誘致回数（累計） <table><tr><th>現状値</th><th>目標値</th></tr><tr><td>26 回</td><td>▶ 116 回</td></tr></table>	現状値	目標値	629 人	▶ 3,800 人	現状値	目標値	26 回	▶ 116 回
現状値	目標値								
629 人	▶ 3,800 人								
現状値	目標値								
26 回	▶ 116 回								
6 持続可能な観光体制と受入れ環境の強化	◆亀山市観光協会の組織運営を支援し、主体的な取り組みを促進します。 ◆来訪者が快適に過ごせるよう、観光客の受入れ基盤の整備を推進します。								
関連指標	◇観光協会ホームページ訪問者数（累計） <table><tr><th>現状値</th><th>目標値</th></tr><tr><td>280,221 人</td><td>▶ 360,000 人</td></tr></table> ◇市への来訪者の満足度 <table><tr><th>現状値</th><th>目標値</th></tr><tr><td>—</td><td>▶ 80%</td></tr></table>	現状値	目標値	280,221 人	▶ 360,000 人	現状値	目標値	—	▶ 80%
現状値	目標値								
280,221 人	▶ 360,000 人								
現状値	目標値								
—	▶ 80%								

■主要観光施設利用者数の推移

(単位:人)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
亀山市歴史博物館	9,686	9,588	9,775	8,549	7,170	5,508	7,142	7,200	9,693
関宿旅籠玉屋歴史資料館	14,686	13,838	15,211	16,050	7,668	7,572	11,634	11,874	14,379
名阪森林パーク(かぶとの森テラス)	4,801	3,631	11,100	12,903	17,435	20,682	16,588	13,813	11,730
亀山市石水溪キャンプ場施設	7,186	7,701	8,292	6,530	3,906	2,196	5,166	6,123	5,092
道の駅関宿	97,926	97,817	97,241	93,983	77,829	78,863	87,406	94,130	102,284
亀山サンシャインパーク	106,808	116,327	75,089	75,335	68,993	86,837	79,592	80,572	69,485
合計	241,093	248,902	216,708	213,350	183,001	201,658	207,528	213,712	212,663

(資料：商工観光課)



1. まちの活力とにぎわいの向上

(4) 農業の活性化

1. まちの活力とにぎわいの向上

- (1) 都市空間の魅力化と交通拠点性の向上
- (2) 企業活動の促進と雇用の確保
- (3) 商工業・観光の活性化
- (4) 農業の活性化
- (5) 歴史文化を生かしたまちづくりの推進

目指す姿

農業者が、持続可能な農業経営を行っています。

◇成果指標

1. 認定農業者及び新規就農者数（累計）

現状値	目標値
42 人	50 人

2. 認定農業者等による集積面積（累計）

現状値	目標値
373ha	383ha

現状と課題

- 農業を取り巻く環境は、人口減少の進行や農業者の高齢化、資材の高騰等により、農業者の減少とともに荒廃農地が増加しています。また、主食用米においてはインバウンド需要の増加や生産調整による生産量の減少等の理由により、需要に供給が追いつかず価格が高騰している状況です。国においても、今後、水田政策を作物ごとの生産性向上等の支援へと転換する方針を打ち出しており、市内の農業を振興するために、意欲のある農業者の育成や新規就農者の確保・定着に努めています。こうした中、本市は中山間地域が多いことから、農業者や新規就農者の定着や農地の拡大が進まない状況にあり、引き続き、就農者の確保、ICTやスマート農業技術の導入等による持続可能な農業経営に向けた取り組みを促進することが必要です。
- 地域の団体による農地保全活動や地域資源を活用した中山間地域の活性化等の取り組みを継続して支援していますが、活動団体数や活動面積は伸び悩んでいます。人口減少や高齢化が進む農村を維持・活性化するためには、団体で行う農地周辺の草刈等の地域活動を支援し、農地が持つ多面的機能の維持・発揮や荒廃農地の発生防止に努める必要があります。
- 農地の維持を図るため地域における農業施設の維持・整備に取り組んでいますが、老朽化等により修繕が必要な農業施設は年々増加していることから、農業施設の維持等に向けた支援や施設整備が引き続き求められています。
- 本市では、亀山ブランドの認定など農産物のブランド化に取り組んでいますが、農産物に対する消費者の安全・安心志向の高まりや、生産者による販売手法の多様化が進む中で、本市の農作物が選ばれるためには、さらなるブランド化の推進や高付加価値化を進め、消費拡大を図ることが求められています。また、地域の農産物を利用した「かめやまっ子給食」の実施など、地産地消の取り組みも引き続き促進していく必要があります。
- 市内では遊休農地が拡大していることから、耕作農地を拡大したい農業者や農業法人と、農地を提供したい地権者とをつなぐことで、農地の利用を促進していく必要があります。
- 豚熱、鳥インフルエンザ、口蹄疫等の家畜伝染病については、三重県と連携して感染防止対策に取り組んでおり、今後も引き続き、三重県と連携し感染防止対策に取り組むとともに、畜産業の安定経営を図るための支援を進めていく必要があります。



施策の方向

1 持続可能な農業経営の促進	◆ 農業者の高齢化や後継者不足を解消するため、今後の担い手となる意欲ある若者等による新規就農、雇用就農、農業へのボランティア参画を支援します。 ◆ 農業の中心的な役割を果たす認定農業者や集落営農等の育成・確保、農業経営の支援を行います。 ◇スマート農業技術等省力化に取り組んだ認定農業者等数（累計） <table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td><td>5 人</td></tr> </tbody> </table> ◇農業ボランティアの受入登録農家数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td><td>10 件</td></tr> </tbody> </table>	現状値	目標値	—	5 人	現状値	目標値	—	10 件
現状値	目標値								
—	5 人								
現状値	目標値								
—	10 件								
2 農地の保全と管理	◆ 中山間地域等で農地の多面的機能の確保に努める組織を支援し、農業生産条件が不利な地域における耕作放棄地の増加抑制を図ります。 ◆ 農業の持続的な発展と農業の有する多面的機能の維持発揮を図る取り組みを支援するとともに、有機農業等の環境負荷を低減する取り組みとあわせて地球温暖化防止等に効果の高い農業生産活動を支援します。 ◆ 老朽化した農業用施設の整備や新たな施設整備を支援し、農業用施設の延命化や管理の省力化を促進します。 ◇地域活動団体が農地の保全と管理に取り組む農用地面積（累計） <table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>493ha</td><td>500ha</td></tr> </tbody> </table> ◇農業用施設整備等の支援率 <table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>89%</td><td>95%</td></tr> </tbody> </table>	現状値	目標値	493ha	500ha	現状値	目標値	89%	95%
現状値	目標値								
493ha	500ha								
現状値	目標値								
89%	95%								
3 農業生産の強化と農産物の魅力向上	◆ 農産物の消費動向を踏まえた生産に取り組めるよう、関係機関と連携して経営の安定化に向けた支援を行います。 ◆ 地産地消や特産品の魅力発信など消費拡大等の取り組みを支援します。 ◆ 関係者と連携し亀山茶の魅力発信につながる取り組みを進めるとともに、生産体制強化への取り組みを支援します。 ◇地産地消への取組回数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>25 回</td><td>29 回</td></tr> </tbody> </table> ◇特産品の消費拡大等の取組回数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12 回</td><td>20 回</td></tr> </tbody> </table>	現状値	目標値	25 回	29 回	現状値	目標値	12 回	20 回
現状値	目標値								
25 回	29 回								
現状値	目標値								
12 回	20 回								

4 農地の有効利用	◆高齢化や相続等により農地の管理に困っている農地所有者と、新規就農や農業拡大を目指す農業者、農業法人が円滑に農地の売買や貸借を行えるよう支援します。			
	◆地域の農業や農地を守るため、農地中間管理機構や農業委員会と連携し、地域の農地の有効利用を促進するとともに、優良農地の確保・保全を図ります。			
関連指標	◇地域計画区域内の農用地等面積（累計）		◇市の支援による農地の賃貸筆数（累計）	
	現状値 736ha	目標値 746ha	現状値 —	目標値 15 筆
5 農業に関わる地域資源の活用	◆市民が市民農園の利用を通じて、健康増進や農業理解の向上を図るとともに、利用者間・世代間の交流を促進します。			
	◆中山間地域の活性化を図るため、地域特産物の発掘・研究、景観保全に関する P R 活動や交流活動を支援します。			
関連指標	◇市民農園貸出率		◇中山間地域活性化事業取組団体数	
	現状値 100%	目標値 100%	現状値 2 団体	目標値 5 団体
6 畜産の振興	◆畜産業の安定経営に向け、三重県や関係機関と連携し、豚熱、鳥インフルエンザ、口蹄疫等の感染症対策を推進します。			
	◇予防防疫対策支援農家数（累計）			
関連指標	現状値 13 件	目標値 50 件		

■農家数及び経営耕地面積（地目別）の推移

区分		平成22年度	平成27年度	令和2年度
総農家数(戸)	総農家数	1,878	1,435	1,113
	自給的農家	831	710	597
	販売農家	1,047	725	516
経営耕地 地目別面積(ha)	総面積	1,115	866	816
	田	832	636	652
	畑	127	116	48
	樹園地	156	114	116

(資料：農林業センサス)



1. まちの活力とにぎわいの向上

(5) 歴史文化を生かした
まちづくりの推進

1. まちの活力とにぎわいの向上

- (1) 都市空間の魅力化と交通拠点性の向上
- (2) 企業活動の促進と雇用の確保
- (3) 商工業・観光の活性化
- (4) 農業の活性化
- (5) 歴史文化を生かしたまちづくりの推進

目指す姿

市民・事業者・行政が、地域の歴史文化に誇りをもち継承と創造を重ねながら、魅力あるまちづくりを進めています。

◇成果指標

1. 国・県・市の指定を受ける文化財の件数

現状値	目標値
136 件	140 件

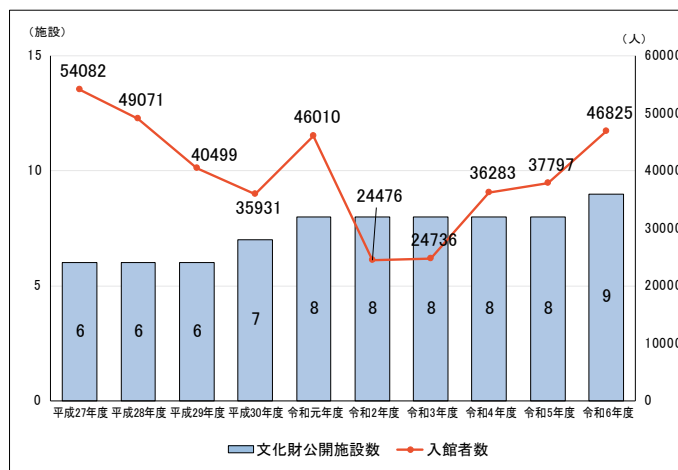
2. 市民主体で文化財を活用した地域活動の件数

現状値	目標値
12 件	18 件

現状と課題

- 歴史まちづくりに向け、「亀山市歴史的風致維持向上計画」に基づき、東海道の舗装の美装化や文化財の計画的な管理・活用を進めています。今後も、街道沿いの特色ある歴史文化資産を生かし、歴史的風致の維持・向上を図るための取り組みを進めていくことが求められています。
- 令和6年度に選定40周年を迎えた関宿重要伝統的建造物群保存地区では、修理修景事業を継続しつつ、防火・防災意識を高めながら文化財の維持・向上に努めるとともに、地域の伝統芸能・祭礼行事の保存・継承に向けた担い手づくりにも取り組んできました。また、関宿重要伝統的建造物群保存地区のほか、鈴鹿関跡、関の山車、ネコギギなど多くの文化財を有しており、これまでも地域の理解を得ながら保存・活用に取り組んできました。しかし、少子高齢化の進行や人口減少等の影響により、文化財の持続的な保存や文化財保存伝承活動の担い手不足、空き家の増加など、様々な課題が生じています。今後は、市内外へ文化財等の魅力を発信するとともに、歴史文化資産の価値を地域が再認識し、市民が主体的に関わる中でシビックプライドの醸成につなげ、観光資源としての活用も含めた保存と活用の両立を図る仕組みを構築していくことが必要です。
- 歴史博物館は令和6年度に開館30年を迎え、様々な企画展等を開催するほか、地域の団体や学校と連携し、地域の人や子どもたちが地元の歴史や文化を学ぶ機会につなげてきました。一方、近年ではインターネット等を通じて広く発信できるデジタル・アーカイブの必要性・有効性が認識され、重要性はますます高まっていることから、デジタル技術を活用した収蔵資料の管理や歴史文化の情報発信を進め、学校教育や地域学習、文化観光など、より多くの人々が活用しやすい環境を整えることが求められています。また、収蔵資料の充実を図る一方で、収蔵品のさらなる適切な管理や施設の老朽化等への対応を図る必要があります。

■東海道沿道における文化財公開施設数と入館者数の推移



(資料：文化課)



施策の方向

1 東海道の歴史文化資産の整備・活用と歴史的風致の維持・向上 関連指標	◆東海道の統一性のある環境整備を進めるとともに、市域の歴史文化をストーリー化するなど、歴史文化資産を生かした魅力あるまちづくりを推進します。 ◆東海道を基軸とした亀山宿を含む亀山城下町や関宿、坂下宿などの歴史的風致の維持・向上に取り組みます。 ◇関宿重要伝統的建造物群保存地区内の街道に面した建造物の修理修景事業の完了率 <table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>65.3%</td><td>70.0%</td></tr> </tbody> </table>	現状値	目標値	65.3%	70.0%				
現状値	目標値								
65.3%	70.0%								
2 文化財の保存・活用と地域の活性化 関連指標	◆関宿重要伝統的建造物群保存地区において、修理修景事業や空き家等を活用した移住促進に取り組むとともに、防災対策の推進やヘリテージマネージャーなど専門人材の育成を図ります。 ◆関の山車会館等を活用し、文化財保存活動団体の伝承活動や団体間の連携・交流を促進するとともに、市民が主体的に文化財建造物の活用事業や伝統行事に参画することで、伝統文化の保存・継承と地域のにぎわいの創出を図ります。 ◆国史跡の追加指定に向けた鈴鹿関跡の学術調査を行うとともに、市域の他の遺跡においても適切な保存と広域的な情報発信を行い、学校教育への活用や文化財保護への地域理解を促進します。 ◆国天然記念物ネコギギの生息状況や河川環境の調査を行うとともに、地域と行政等の協働により、天然記念物の保護と環境保全に取り組みます。 ◇街道沿道における文化財公開施設入館者数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>46,825 人</td><td>50,000 人</td></tr> </tbody> </table>	現状値	目標値	46,825 人	50,000 人				
現状値	目標値								
46,825 人	50,000 人								
3 歴史資産資料等の公開と学習環境の充実 関連指標	◆歴史資産等のデジタル・アーカイブ化と情報発信を推進します。 ◆市が所有する収蔵資料の継続的な管理を行うとともに、歴史博物館においては、資料の適切な収集・管理や計画的な施設整備を通じて、利用しやすい環境の充実を図ります。 ◆文化財を活用した多様な展示や学習環境の整備・充実を図ります。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,888 人</td><td>3,800 人</td></tr> </tbody> </table> ◇史資料を活用した学校や地域の歴史学習に参加した人数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4,177 点</td><td>50,000 点</td></tr> </tbody> </table> ◇収蔵資料を台帳データとして整理した件数（累計）	現状値	目標値	2,888 人	3,800 人	現状値	目標値	4,177 点	50,000 点
現状値	目標値								
2,888 人	3,800 人								
現状値	目標値								
4,177 点	50,000 点								

